

ズーム朝会の話

皆さん、おはようございます。

最近のきらりを紹介します。

一つ目は、「ゲーム集会」が工夫されていたことです。

20日のゲーム集会は、ズームを使って変化したことを見付けるゲームでした。コロナのために集まることができない中で工夫してみんなが楽しめる集会にしてくれた集会委員会の皆さん、ありがとうございました。

二つ目は、あいさつがよくできることです。

お客さんと一緒に廊下や階段を歩いている時も、みなさんの方から「こんにちは」と元気な声であいさつしてくれます。お客さんから「三小の子どもたちはよく挨拶ができますね」とお褒めの言葉をいただいています。挨拶は人の心を明るくしてくれます。

三つめは、皆さんがしっかり学習できていることです。

校長先生は、副校長先生と一緒にいろいろなクラスに学習の様子を見に行っています。どの学級も先生やお友達の話を聞いたり、自分の考えを発表したりして、しっかり学習できています。

さて、おにぎり2個、鮭の塩焼き、たくあん・・・。

これは何の献立だと思いますか？

日本で一番早く始まった給食の献立です。今から約130年くらい前のことです。始まった場所は、山形県の小学校でした。

当時はお昼ごはんを食べられない貧しい子どもたちがたくさんいました。

学校に家からお弁当を持って来ることができない子どもたちが多くいたのです。そこで、学校の先生をしていたお坊さんが、おにぎり・焼き魚・つけもの、味噌汁といったお昼ご飯を、学校で出してくれたそうです。

これが学校でみんな揃って食べた「給食」の始まりです。みなさんの食べている給食とは随分違うけれど、初めて学校でみんなと一緒に食べた給食は、さぞおいしかったことと思います。

今日から「全国学校給食週間」が始まります。

日本は、戦争が終わった後、食べ物がほとんど無い時代が続きました。おなかを空かした子ども達が日本中にたくさんいました。

そんな時、日本の子どもたちを助けようと、世界中の国々から粉ミルクや缶詰などが送られてきました。それを、学校で子どもたちに配り、給食が再開されたのです。

この世界中の人々の温かい心によって、学校給食が再開されたことを大事にして、「全国学校給食週間」が始まりました。

今日から始まる「全国学校給食週間」は、給食を通して食べ物の大切さとそれに関わる人の心の温かさを考える週間です。

では、給食の「食」という字について、考えてみましょう。

この字をよーく見てみると、「人（ひと）」に「良（よい）」と書きますね。

「食」は人に良いのです。

そして「食事」は「人に良い事（こと）」です。

「食事」にはたくさんの方々関わっています。お米や野菜等、材料を作って（生産して）下さる方々、それを新鮮なうちに早く届けてくれる方々、そして美味しく調理をしてくれる方々、そんな方々の「みなさんに美味しく食べてもらいたい」という思いが詰まっているのが「食事」なのです。

そんな方々の温かな思いに、私たちはたくさん「ありがとう」という気持ちをもって頂かなくてはなりません。私たちは「食事」をすることを通して、「良い人になること」を改めて心に刻みたいですね。

この「給食週間」の期間を通して、給食の今まで（歴史）をふり返り、食べ物のお大切さや食事に関わる人達の思いを知り、たくさんの方々のお思いに感謝の気持ちをもって食事をしてもらいたいと思います。

マスク着用、正しい手洗い、ソーシャルディスタンス等を守り、コロナに気を付けて今週も頑張りましょう。